

研究課題 (テーマ)		高度情報システム実現に向けた特色ある学生実験プログラム	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	情報システム工学科	教授	松田弘成
	情報システム工学科	准教授	岩田榮之
	情報システム工学科	准教授	三宅壮聡
	情報システム工学科		他7名(石坂准教授, 岩本講師, 浦島講師, 小林香講師, 中村講師, 唐山准教授, 中田講師, 西原助教)
研究結果の概要			
<p>これまで平成 19, 20 年度の 2 年間にわたり, 情報システム工学に相応しい学生実験テーマを編成し「情報システム工学実験 1, 2, 3」を整備してきました. この学生実験テーマを実施した経験を踏まえ, 平成 24 年度には実験テーマや実験内容を見直し, より教育効果が高く, より実際的なシステムを用いた学生実験を検討・準備しました.</p> <p>情報システム工学実験の中から, 今後の実験テーマとして継承すべき内容を選別すると共に, 新規に実験テーマを立案しました. 具体的には, 以下の項目について調査・検討・準備を進めました:</p> <p>(1) ユビキタス分野の新規実験テーマを立案しました. その妥当性を検証するため実験機材を購入し, 立案したテーマを模擬的に実施し, 実験テーマとして教育効果, 難易度, 実験時間などで妥当なことを確認しました.</p> <p>(2) 老朽化した旧型測定器を最新のデジタル測定器に更新しました.</p> <p>(3) 一部の実験テーマの内容を拡充しました.</p> <p>これらの実験テーマの策定, 拡充にあたっては, 情報システム工学科の教育目標に立ち返り, 個々の学生が創造力を働かせて解決策を考えることを重視した内容とすることを目標としました. 検討の結果, プログラミング分野の実験テーマを演習科目の一部とすることで削除し, それに代わり, 学生の興味と意欲をより高めるような新規実験テーマを立案しました. その1つとして, 小型無線ハイブリッドセンサを用いたユビキタス分野の新規実験テーマを準備して, その妥当性を確認しました. また一部の実験テーマでは, 1週で実施していた内容を2週にわたって実施する内容へ改変し, 内容を充実させました.</p> <p>以上のように学生実験プログラムを改変したことで, 学生の問題解決能力より一層の向上を望むことができます. さらに, 学生にとってより満足度の高い内容とすることができます.</p>			
今後の展開			
<p>本学科では平成 24 年度から始まる新カリキュラムに合わせて, 学生実験プログラムを再編する予定です. 本プログラムはこの再編に向けた準備を狙ったものです.</p> <p>しかし, 本プログラムによる準備はまだ十分ではなく, さらなる新規実験テーマの立ち上げや既存実験テーマで用いる計測システムの改善等, 一層の充実が必要です.</p> <p>したがって, 平成 24 年度も情報システム実験の再編に向け, 実験テーマの立案, 改良, 実験環境の充実を進めていきます.</p>			